

村井ひでき通信 第22号 ~2016年下半期 活動報告編~



衆議院議員 **村井ひでき** です。

明けましておめでとうございます！

平成29年が始まりました。今年が皆様方にとって素晴らしい1年となりますようお祈り申し上げます。

さて、本号では、2016年下半期活動報告編として、昨年後半の村井ひできの活動について写真を中心に振り返ります。また、安倍政権の目玉政策「働き方改革」の意義・方向性について裏面でまとめましたので、是非ご覧ください。

歴代最年少副幹事長として

副幹事長の朝は、二階幹事長に対して、「当日の動き」、「記者への対応方針」などを説明することからスタート。その後、幹事長室に押し寄せる、政策・政局に関する懸案、各種要望に一つ一つ丁寧に対応していきます。これまで見えていなかった政治の奥深さも感じる半年間でした。



「働き方改革」に取り組む

安倍政権の目玉政策の働き方改革。「働く側の目線」、「経営者側の目線」、そして「経済全体を見据えた成長戦略推進の視点」から中間提言をとりまとめました（詳細は裏面参照）。写真は、茂木政調会長、田村前厚生労働大臣と共に安倍総理に申し入れを行った際のもの。



文部科学部会長代理として

昨年夏から、新たに文部科学部会長代理を務めております。学校現場における教員の負担軽減、幼児教育の充実、給付型奨学金の創設など様々な課題に取り組みました。「教育は国の礎」。簡単に答えは出ませんが、最も大切な分野です。息の長い取り組みを進めます。



国会質問は議員の基本

昨年の臨時国会では、厚生労働委員会、財務金融委員会で質問に立ちました。一部野党から、「年金カット法案」とレッテル貼りをされてしまった「年金改革法案」の真のねらい等について質問しています。詳細は、国会会議録検索システムで、「村井英樹」と検索の上ご覧ください。



中小企業目線の信用保証制度改革

初当選時から取り組んできた信用保証制度改革の内容が固まりました。地域金融機関に、中小企業の経営改善・事業再生に取り組むインセンティブを与えるよう保証割合・保証額の変更等を行う予定で、通常国会に関連法案を提出します。写真は、世耕経済産業大臣に申し入れを行った際のもの。



さいたま国際マラソン完走

昨年で2回目となりましたさいたま国際マラソンに出場し、5時間17分14秒のタイムで走りきりました。フルマラソン完走は初めてでしたが、高層ビル群・住宅街・田園地帯を駆け抜け、さいたま市の魅力を存分に感じる42.195kmでした。沿道でご声援頂いた皆様本当にありがとうございました！写真はゴール地点でのもの。



ご要望・ご相談何でも承ります!!

地域での様々なお困りごと、政策的なご要望など、村井ひでき事務所では計9名（写真は8名）のメンバーが一致団結・全力で対応させていただきます。何かございましたら、お気軽に事務所までご連絡ください。常盤小学校の南側。ポスターが多数掲示されている一軒家が事務所です。



子育ても頑張ります!!

プライベートでは、長男が2歳になり、二人目も近々誕生予定。子育ての大変さを実感しつつ、家族に深く感謝しつつ、子育て世代の代表として国政に取り組みます。地元議員として、さいたま市内の子育て環境改善にも取り組んでおります。お気づきのこと等ございましたら、ご連絡ください。



【地元事務所】〒330-0061さいたま市浦和区常盤9-27-9 TEL048-711-3241 FAX048-711-3242

【国会事務所】〒100-8981千代田区永田町2-2-1衆議院議員会館I-911 TEL03-3508-7467 FAX03-3508-3297

《発行》自民党埼玉県第一選挙区支部(岩槻区・浦和区・緑区・見沼区) 住所:〒330-0061さいたま市浦和区常盤9-27-9 【封筒資料】

一人ひとりのニーズに対応した「働き方改革」

「働き方改革」。最近良く耳にするキーワードではないかと思えます。私も、自民党「働き方改革に関する特命委員会」事務局次長として、去る12月15日、中間報告をとりまとめ安倍総理に提出しました(詳細は、自民党HP参照)。そこで、本号では、なぜ今「働き方改革」が重要なのか、考えてみたいと思います。

「どのように働くか」は、我々のライフスタイルに大きな影響を与える重要なテーマです。その一方、必ずしも、今の働き方・働く環境に、100%満足できない方も多いのではないのでしょうか。

例えば、子育てとの両立。働くお母さん方からは、「保育所が見つからない」、「残業があると時間外保育にお金がかかる」、「小学校就学後は学童保育を見つける必要がある」など様々な課題を伺います。

また、働き盛りのお父さん方からは、「平日は職場の残業や付き合いの宴会でへとへとになるのに、土日は家族サービスに頑張る必要があり、なかなか体が休まらない」という声も伺います。

若い方からは、「非正規労働で頑張っても、給料や

待遇面で正社員との格差が大きすぎる」、「企業の社会保険に入れず将来が不安だ」という声を聞きます。

働く方個人にとっては、今の働き方・働く環境を変えることは難しいと感じられるかもしれませんが。しかし、実は、一人一人の方が抱えている、こうした悩みを解決することこそ、日本経済の活性化にとって最も大事な「働き方改革」なのです。

例えば、働きたいお母さん方に、働きやすい環境を整えば、人手不足の我が国経済にとって貴重な労働力となることは勿論、男性とは異なる柔軟な視点で、革新的な商品・サービスを生み出してくれるでしょう。

お父さん方も、長時間残業が許されなくなれば、限られた時間内により効率的に働くことを考えます。企業内での取り組みも進むでしょう。そうすると、企業や経済全体で、もっと生産性が上がるはずですよ。

さらに、非正規雇用でも、正規雇用でも、仕事に見合った正当な給料や待遇が得られるようになれば、非正規で働く皆様にも、将来に向けた希望が生まれ、もっと生き生きと働けるはずですよ。

マクロ経済政策としての「働き方改革」

それでは、「働き方改革」をマクロ経済政策の観点から捉えるとどのような意義があるのでしょうか。

我が国が直面する最大の課題。それは、言うまでもなく、人口減少と、それに伴う働き手の減少です。

経済のパイの大きさは、「働き手の数」に、「働き手一人一人が生み出す成果」をかけることで決まります。これは、会社でも、従業員数と、従業員個々人の売上をかけたものが、会社全体の売上になるのと同じです。日本経済(GDP)を大きくするためには、働き手の数(労働力人口)を増やすこと、労働者一人一人の生み出す成果(労働生産性)を増やすことが必要です。

では、労働力人口の減少が現実視される中で、我が国の経済活力を維持し、安心・安全の社会保障をしっかりと提供するためには、どうするべきか。まず、働く元気と意欲のある方には、しっかりと働いていただくことが大切です。そして、働き手には、より効率的に働いていただき、限られた時間の中で少しでも大きな成果を生み出していただく必要があります。

安倍政権が取り組む「1億総活躍社会」の実現、そして「働き方改革」とは、まさにこうした日本経済の最大の課題である人口減少に真正面から取り組み、構造改革を実現しようとするマクロ経済政策なのです。

「働き方改革」実現に向けて

以上のように、大きな構造改革を目指している「働き方改革」は単発の政策では完結しません。また、いくつかの政策は既に動き出しています。

まず、女性が仕事と子育てを両立しやすい仕組み。政府与党では、保育の待機児童を解消するための受け皿の整備や、会社による女性登用の推進などに強力に取り組んでおり、安倍政権発足以降、女性の就労は急速に拡大しています。

また、働く現役世代にとって、両親の介護負担も大きな課題です。政府与党では、介護離職ゼロを目指し、介護の受け皿整備の加速や、介護現場で働く方の待遇改善などに取り組んでいます。

そして、今後は働き方改革の本丸の一つ「同一労働同一賃金」を目指します。多くの若者が非正規雇用で働いている現実を直視し、非正規雇用と正規雇用の不当な待遇差を是正していく。政府与党では、まずガイドラインを策定し、その後法改正も実施することで、「同一労働同一賃金」・「不合理な待遇差の是正」を実現します。

さらには、働き方改革の本丸中の中核である「長時間労働の是正」も目指します。戦後日本のように「猛

烈サラリーマン」が会社で長時間働き、家庭で奥さんが子育てに取り組むという家族像は、もはや少数派です。今こそ、長時間労働という悪しき慣行を改め、若者も、女性も、高齢者も、自分に合った働き方ができるようにする必要があります。そのため、政府与党では、時間外労働の規制をこれまで以上に厳しくするための労働基準法改正などを実施し、「長時間労働の是正」を実現して参ります。

働き方改革は、スケールの大きい話であり、政策分野も多岐に渡りますが、必要な改革を連続的に実施することで、全ての働く方が、適切なワークライフバランスの中で、仕事における自己実現と、家族との豊かな時間を両立できる環境創りを行って参ります。

【村井ひできミニプロフィール】

昭和55年さいたま市生まれ。浦和市立別所小学校、東京大学卒業後、財務省入省。ハーバード大学大学院修了。平成23年財務省退官(主税局参事官補佐)し、翌年12月初当選(96,242票)。平成26年12月、再選(105,760票)。現職:党副幹事長、厚生労働委員、「2020年以降の経済財政構想小委員会」事務局長、文部科学部会長代理、商工・中小企業関係団体委員長等。家族:妻・息子(2歳)。36歳。